

## 平成24年度事務事業評価表（基本）

|       |        |        |    |     |       |
|-------|--------|--------|----|-----|-------|
| 事務事業名 | 総合防災訓練 | 重点評価区分 | 重点 | 担当部 | 地域振興部 |
|       |        |        |    | 担当課 | 防災課   |

## 基本情報

## 1 事務事業の概要

|                                 |  |      |                    |
|---------------------------------|--|------|--------------------|
| 開始年度                            | 昭和48年度   | 根拠法令 | 災害対策基本法第48条、地域防災計画 |
| 性質区分                            | 講座・育成  | 実施形態 | 地域との協働             |
| 対象者                             | 地域住民・警察・消防・自衛隊・医師会・各防災関係機関   |      |                    |
| 裁量区分                            | あり   |      |                    |
| 実施内容<br>(事務事業の実施内容、手段、過去の改善実績等) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開始年度 昭和48年度、例年実施時期 10月末～11月初旬</li> <li>・同時多発型災害に対応した、より実効性のある訓練を実施するため、学校避難所、防災活動拠点、地区内の広場など、災害時に救出や救護、情報交換などの場になる場所を訓練会場として実施する。</li> <li>・19地区から毎年地区を選出し順番で実施することにより、すべての防災市民組織が順次訓練に参加する。</li> <li>・医療救護所運営訓練などの機関訓練及び自治町会ごとの自主訓練等を実施する。</li> </ul> |      |                    |

## 2 施策及び事務事業意図

|        |    |  |
|--------|----|--|
| 施策     | 名称 | 災害対策                                   |
|        | 意図 | 災害に対する的確な対応と迅速な復旧ができる体制になっている。         |
| 事務事業意図 |    | 区民（防災市民組織）の防災行動力が強化し、防災関係機関の協力体制が確立する。 |

## 実績情報

## 1 成果指標の達成状況

| 成果指標  | 指標の根拠                | 単位 | 区分 | 21年度 | 22年度  | 23年度  |
|-------|----------------------|----|----|------|-------|-------|
| 訓練参加率 | 参加者数 / 対象地区の人口 × 100 | %  | 目標 | 6.00 | 6.00  | 6.00  |
|       |                      |    | 実績 | 4.10 | 10.58 | 12.57 |
|       |                      |    | 目標 |      |       |       |
|       |                      |    | 実績 |      |       |       |

## 2 活動指標の達成状況

| 活動指標  | 指標の根拠               | 単位 | 区分 | 21年度  | 22年度  | 23年度  |
|-------|---------------------|----|----|-------|-------|-------|
| 参加者数  | 訓練実施地区参加人員 + 関係団体人員 | 人  | 目標 | 2,500 | 2,500 | 2,500 |
|       |                     |    | 実績 | 2,440 | 2,158 | 1,984 |
| 参加団体数 | 防災協力機関団体数           | 団体 | 目標 | 73    | 73    | 73    |
|       |                     |    | 実績 | 73    | 45    | 52    |
|       |                     |    | 目標 |       |       |       |
|       |                     |    | 実績 |       |       |       |
|       |                     |    | 目標 |       |       |       |
|       |                     |    | 実績 |       |       |       |

## 3 コスト内訳（決算）

| 項目                      |          | 単位     | 21年度   | 22年度   | 23年度  |       |
|-------------------------|----------|--------|--------|--------|-------|-------|
| 収入                      | 特定財源     |        |        |        |       |       |
|                         | 国庫支出金    | 千円     | 0      | 0      | 0     |       |
|                         | 都道府県支出金  | 千円     | 0      | 0      | 0     |       |
|                         | その他      | 千円     | 0      | 0      | 0     |       |
| 一般財源（a）                 | 千円       | 14,374 | 14,309 | 14,109 |       |       |
| 支出                      | 直接事業費（b） | 千円     | 6,274  | 4,729  | 4,669 |       |
|                         | 報償費      | 千円     | 688    | 687    | 685   |       |
|                         | 消耗品費     | 千円     | 775    | 520    | 893   |       |
|                         | 印刷製本費    | 千円     | 0      | 50     | 0     |       |
|                         | 通信運搬費    | 千円     | 25     | 8      | 15    |       |
|                         | 筆耕翻訳料    | 千円     | 0      | 0      | 10    |       |
|                         | 手数料      | 千円     | 62     | 0      | 0     |       |
|                         | 委託料      | 千円     | 4,499  | 3,464  | 3,013 |       |
|                         | 自動車借上料   | 千円     | 31     | 0      | 53    |       |
|                         | 使用料及び賃借料 | 千円     | 194    | 0      | 0     |       |
|                         | 職員人件費（c） | 千円     | 8,100  | 9,580  | 9,440 |       |
|                         | 人件費      | 千円     | 8,100  | 9,580  | 9,440 |       |
|                         |          | 人      | 1.00   | 1.40   | 1.40  |       |
|                         | 再雇用職員    | 千円     | 0      | 0      | 0     |       |
|                         |          | 人      | 0.00   | 0.00   | 0.00  |       |
|                         | 間接費（d）   | 千円     | 0      | 0      | 0     |       |
|                         | 調整額（e）   | 千円     | 700    | 1,260  | 1,260 |       |
|                         | 減価償却費    | 千円     | 0      | 0      | 0     |       |
|                         |          | 金利     | 千円     | 0      | 0     | 0     |
|                         |          | 退職給与引当 | 千円     | 700    | 1,260 | 1,260 |
| （控）コスト対象外               | 千円       | 0      | 0      | 0      |       |       |
| トータルコスト（f）<br>（b+c+d+e） | 千円       | 15,074 | 15,569 | 15,369 |       |       |

## 4 単位あたりコスト

| 項目              | 単位 | 21年度   | 22年度  | 23年度  |
|-----------------|----|--------|-------|-------|
| 単位の定義           |    | 延べ参加者数 |       |       |
| 実績数値（g）         | 人  | 2,440  | 2,158 | 1,984 |
| 単位あたり区単コスト（a/g） | 円  | 5,891  | 6,631 | 7,111 |
| 単位あたりコスト（f/g）   | 円  | 6,178  | 7,215 | 7,746 |

## 平成24年度事務事業評価表（重点評価）

|       |        |     |       |
|-------|--------|-----|-------|
| 事務事業名 | 総合防災訓練 | 担当部 | 地域振興部 |
|       |        | 担当課 | 防災課   |

## 過年度の実績状況の評価と今後の方向性

|         |  |   |
|---------|--|---|
| 実績状況の評価 | <p>訓練参加率は目標6%に対し平成23年度では12.57%と目標を達成している。<br/>しかし、東日本大震災以降、区民の防災意識が高まっており、従来のイベント的な訓練から、より実践的な訓練が必要となっている。</p> |   |
| 今後の方向性  | 改善   | <p>東日本大震災を教訓に、より実践的で実効性のある訓練を実施する。<br/>具体的には、BCP調査結果を踏まえた職員参集訓練、災害対策本部の運営訓練、医療救護所・福祉施設等の避難所開設訓練、関係機関と連携した道路啓開訓練、防災無線・コミュニティFMを活用した情報発信訓練など、より実践的な内容とする。</p> |
|         | 継続   |   |

## 「今後の方向性」に基づく取組内容

## 1 今後の成果指標の目標値

| 成果指標 | 指標の根拠・計算式など | 単位 | 区分 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|------|-------------|----|----|------|------|------|
|      |             |    | 目標 |      |      |      |
|      |             |    | 目標 |      |      |      |

## 2 今後の活動目標及び活動指標の目標値

| 活動目標 | 視点 | 活動指標 | 単位 | 区分 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|------|----|------|----|----|------|------|------|
|      |    |      |    | 目標 |      |      |      |
|      |    |      |    | 目標 |      |      |      |
|      |    |      |    | 目標 |      |      |      |
|      |    |      |    | 目標 |      |      |      |

## 平成 21 年度葛飾区総合防災訓練の実施結果について

### 1. 総合防災訓練の目的及び経過

総合防災訓練は、大震災時における各防災関係機関の活動と地域住民の自主防災活動の一体的に実施することにより、機関相互の協力関係の確立と地域防災力の強化を図ることを目的としている。

平成 8 年度以前には、河川敷において防災関係機関を中心とした訓練を行っていたが、平成 9 年度からは、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、地域住民と防災関係機関が一体となった、市街地における実践的な訓練を実施している。

### 2. 平成 21 年度実施内容

#### (1) 概要

- ・実施日時 平成 21 年 10 月 4 日（日）  
午前 8 時 30 分から 11 時 30 分まで
- ・天候 くもり
- ・実施地区 水元地区、西水元地区  
東金町地区
- ・会場 水元・西水元地区...旧都立水元高校及び水元中央公園  
葛美中学校（医療救護所）  
東金町地区 ...半田小学校及びわかば公園
- ・状況設定 震度 6 強の首都直下地震

#### (2) 参加機関及び参加人数

|                        |        |        |
|------------------------|--------|--------|
| 警察署                    |        | 20人    |
| 消防署、消防団                |        | 235人   |
| 電気、ガス、通信などのライフライン機関    |        | 26人    |
| 医師会等医療機関               |        | 203人   |
| 水元自治町会連合会              | 12自治町会 | 458人   |
| 西水元地区自治町会連合会           | 15自治町会 | 752人   |
| 東金町自治町会連合会             | 6自治町会  | 344人   |
| 葛美中学校、半田小学校            |        | 39人    |
| 災害時相互応援協定都市・災害時協力協定団体等 |        | 98人    |
| 葛飾区議会                  |        | 25人    |
| 葛飾区                    |        | 240人   |
| 合計                     | 73団体   | 2,440人 |

### ( 3 ) 各会場の主な訓練内容

#### 旧都立水元高校及び水元中央公園会場 ( 23自治町会 827人参加 )

- ・警察や自衛隊による、倒壊家屋からの救出、救助訓練
- ・協定団体による道路啓開訓練、炊き出し訓練、民間建築物応急危険度判定等
- ・災害時相互応援協定都市による備蓄物資提供訓練
- ・自治町会（防災市民組織）による初期消火、救助、応急手当などの訓練
- ・区備蓄のエアテント設営訓練
- ・煙ハウスによる訓練



(自衛隊による救助訓練)



(自治町会による救助訓練)

#### 葛美中学校会場（医療救護所） ( 4自治町会 383人参加 )

葛美中学校は災害時の医療救護所となることから、葛飾区医師会、葛飾区歯科医師会、葛飾区薬剤師会、葛飾区柔道接骨師会、葛飾赤十字産院、葛飾区歯科技工士会などの参加のもと、医療活動を中心とした訓練を行なった。

(その他の訓練)

- ・自治町会（防災市民組織）による初期消火、救助、応急手当などの訓練
- ・協定団体による炊出し訓練、物資輸送訓練等
- ・ボート操作・組立訓練、煙ハウスによる訓練
- ・広域避難訓練



(医療救護訓練)



(炊出し訓練)

## 半田小学校及びわかば公園会場 (6自治町会 344人参加)

- ・自治町会(防災市民組織)による初期消火、救助、応急手当などの訓練
- ・協定団体による炊き出し訓練や物資輸送訓練、応急電源供給対応訓練等
- ・起震車による地震の体験訓練のほか、ボート操作・組立訓練、煙ハウスによる訓練



(自治町会による応急手当訓練)



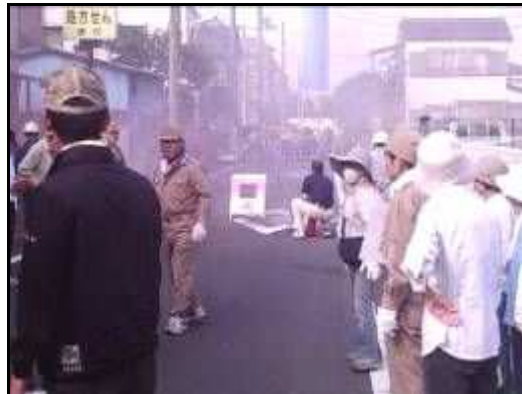
(起震車による地震体験)

## その他の訓練等

- ・葛飾区による臨時広報紙の発行、災害情報の告知、ごみ収集・運搬活動訓練、情報通信訓練、避難所の応急危険度判定訓練、道路通行情報伝達及び収集訓練、応急給水訓練、現地災害対策本部及び災対区議会による本部運営訓練、地籍調査事業の啓発及び展示、地区災害対策拠点による情報伝達訓練等
- ・かつしかFMによる取材、報道

(4) 総合防災訓練において初めての取り組み

- ・発災直後の住民の防災行動力を強化するため、発災想定時間の8時30分直後に、路地裏や広場などで火災や家屋が倒壊したことを想定した自治町会による自主訓練を行なった。参加自治町会数... 6自治町会



(自治町会による自主訓練)

- ・旧都立水元高校及び半田小学校では、自治町会、市民消火隊、消防署、消防団が協力して一斉放水訓練を行なった。



(旧水元高校会場一斉放水訓練)

(半田小学校会場一斉放水訓練)

- ・JCNコアラ葛飾の協力により、訓練の状況をビデオ収録しDVDを作成した。DVDについては、総合防災訓練のPRに使うため各自治町会などに貸し出しを行なうとともに、訓練状況の把握に利用し今後の企画の参考とする。

# 平成 22 年度葛飾区総合防災訓練の実施結果について

## 1 . 総合防災訓練の目的及び経過

総合防災訓練は、大震災時における各防災関係機関の活動と地域住民の自主防災活動の一体的に実施することにより、機関相互の協力関係の確立と地域防災力の強化を図ることを目的としている。

平成 8 年度以前には、河川敷において防災関係機関を中心とした訓練を行っていたが、平成 9 年度からは、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、地域住民と防災関係機関が一体となった、市街地における実践的な訓練を実施している。

## 2 . 平成 22 年度実施内容

### ( 1 ) 概 要

- ・実施日時 平成22年10月3日(日)午前8時30分から11時30分まで  
(夜間避難訓練 10月2日(土)午後6時から9時まで)
- ・天 候 晴れ
- ・実施地区 奥戸地区
- ・会 場 奥戸小学校  
南奥戸小学校(医療救護所)  
南奥戸公園・南奥戸第二公園  
奥戸地区内生産緑地(ビニールハウス夜間避難訓練)
- ・状況設定 震度6強の首都直下地震

### ( 2 ) 参加機関及び参加人数

|  |                  |
|--|------------------|
| 警察署                                      | 35 人             |
| 消防署、消防団                                  | 131 人            |
| 電気、ガス、通信などのライフライン機関(6団体・機関)              | 29 人             |
| 自衛隊                                      | 12 人             |
| 医師会等医療機関(6団体・機関、災対保健所除く)                 | 183 人            |
| 奥戸地区町会連合会(6自治町会)、夜間避難訓練参加者等              | 1,364 人          |
| 災害時相互応援協定都市(土浦市)、<br>災害時協力協定団体等(22団体・機関) | 134 人            |
| 葛飾区議会                                    | 36 人             |
| 葛飾区(災对各機関訓練従事者含む)                        | 234 人            |
| 合 計                                      | 45 団体<br>2,158 人 |



### ( 3 ) 発災対応型訓練の実施

- ・発災直後の住民の防災行動力を強化するため、発災想定時間の8時30分直後に、路地裏や広場などで火災や家屋が倒壊したことを想定した自治町会による自主訓練を行なった。参加自治町会数... 2自治町会

### ( 4 ) 各会場の主な訓練内容

#### 奥戸小学校会場

( 1自治町会 230人参加 )

- ・自治町会による初期消火、倒壊家屋からの救出などの訓練
- ・自治町会及び協定団体の共同による炊き出し訓練
- ・警察、車両からの救出訓練、水害を想定した水難救助訓練及びボート訓練
- ・災害時相互応援協定都市による備蓄物資提供訓練
- ・協定団体による民間建築物応急危険度判定、物資輸送訓練等
- ・区備蓄のエアテント設営訓練



( 車両からの救出訓練 )



( 倒壊家屋からの救出訓練 )



( 水難救助訓練 )

#### 南奥戸小学校会場 ( 医療救護所 )

( 3自治町会 771人参加 )

南奥戸小学校は災害時の医療救護所となることから、葛飾区医師会、葛飾区歯科医師会、葛飾区薬剤師会、葛飾区柔道接骨師会、葛飾赤十字産院、葛飾区歯科技工士会、葛飾区保健所の参加のもと、医療活動を中心とした訓練を行なった。

#### ( その他の訓練 )

- ・自治町会による炊き出し訓練や初期消火、倒壊家屋からの救出などの訓練
- ・婦人消火隊及び本田消防少年団による放水訓練
- ・自衛隊による倒壊家屋からの救出訓練
- ・協定団体による物資輸送訓練、防災関係展示等
- ・起震車による地震の体験訓練

## 南奥戸公園・南奥戸第二公園会場 (2自治町会 323人参加)

- ・自治町会による初期消火、倒壊家屋からの救出などの訓練
- ・自治町会及び協定団体の共同による炊き出し訓練
- ・南奥戸町会による防災関係展示及び啓発
- ・集会所を使った煙体験訓練
- ・消防及び葛飾電気防災協力会の共同による中層住宅からの救出訓練
- ・協定団体による道路啓開訓練や物資輸送訓練、応急電源供給対応訓練等



## 夜間避難訓練 (募集参加者 18人参加)

災害時に避難場所として農地利用する協定を結んでいる JA 東京スマイルの協力の下、実際にビニールハウスを使い夜間避難の訓練を実施した

日 時：10月2日(土) 午後6時から9時

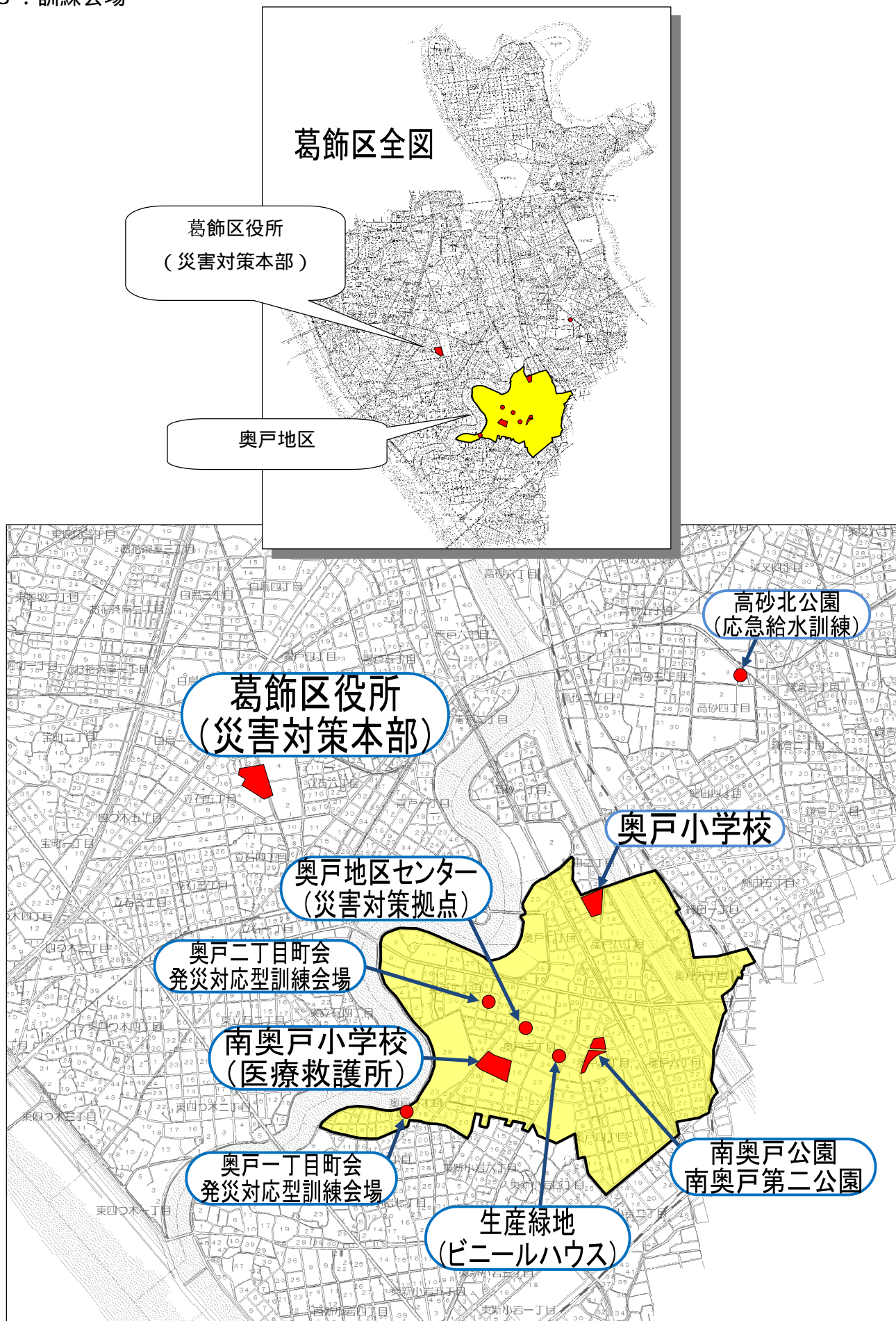
協力機関：JA 東京スマイル、JA 東京スマイル葛飾営農研究会、赤十字社、奥戸地区町会連合会、葛飾区青少年育成奥戸地区委員会、消防団

訓練内容：(1) 設営訓練 (2) 炊き出し訓練 (3) 救護訓練  
(4) 就寝体験 (5) 都市農地の役割について意見交換

## その他の訓練等

- ・葛飾区による臨時広報紙の発行、災害情報の告知、ごみ収集・運搬活動訓練、情報通信訓練、避難所の応急危険度判定訓練、道路通行情報伝達及び収集訓練、応急給水訓練、現地災害対策本部及び災対区議会による本部運営訓練、地籍調査事業の啓発及び展示、地区災害対策拠点による情報伝達訓練等
- ・かつしかFMによる取材、報道及び災害時の臨時放送訓練
- ・JCN コアラ葛飾による取材、報道

### 3 . 訓練会場



# 平成23年度葛飾区総合防災訓練の実施結果について

## 1. 総合防災訓練の目的及び経過

大震災時における各防災関係機関の活動と地域住民の自主防災活動の一体的に実施することにより、機関相互の協力関係の確立と地域防災力の強化を図ることを目的として、地域住民と防災関係機関が一体となった、市街地における実践的な訓練を実施しました。

## 2. 平成23年度実施内容

### (1) 概要

- ・実施日時 平成23年10月30日(日)午前8時30分から11時30分まで
- ・天候 晴れ
- ・実施地区 高砂地区
- ・会場 高砂小学校(一部高砂中学校)、高砂北公園、葛飾区役所  
高砂地区内生産緑地(ビニールハウス)、高砂地区センター
- ・状況設定 震度6強の首都直下地震

### (2) 参加機関及び参加人数

|  |                |
|--|----------------|
| 警察署                                      | 18人            |
| 消防署、消防団、消防ボランティア                         | 112人           |
| 電気、ガス、通信などのライフライン機関(6団体・機関)              | 28人            |
| 自衛隊(自衛官、父兄会、協力会、募集相談員)                   | 33人            |
| 医師会等医療機関(6団体・機関、災対保健所除く)                 | 184人           |
| 高砂地区町会連合会(10自治町会)                        | 1,227人         |
| 災害時相互応援協定都市(土浦市)、<br>災害時協力協定団体等(22団体・機関) | 124人           |
| 葛飾区議会                                    | 31人            |
| 葛飾区(農業委員会、災对各機関訓練従事者含む)                  | 227人           |
| 合計                                       | 52団体<br>1,984人 |

### (3) 発災対応型訓練の実施

・発災直後の住民の防災行動力を強化するため、発災想定時間の8時30分直後に路地裏や広場などで火災や家屋が倒壊したことを想定した、自治町会による自主訓練を行ないました。(参加自治町のうち2自治町会)

#### ( 4 ) 各会場の主な訓練内容

### 高砂小学校会場 ( 医療救護所 )

( 3自治町会 401人参加 )

高砂小学校は災害時の医療救護所となることから、葛飾区医師会、葛飾区歯科医師会、葛飾区薬剤師会、葛飾区柔道接骨師会、葛飾赤十字産院、葛飾区歯科技工士会、葛飾区保健所の参加のもと、医療活動を中心とした訓練を行いました。

( その他の訓練 )

- ・自治町会による初期消火、倒壊家屋からの救出などの訓練
- ・自治町会及び協定団体の共同による炊き出し訓練
- ・避難所開設訓練
- ・郵便事業者による郵便物配達訓練



( 医療救護訓練 )



( 初期消火訓練 )

### 高砂北公園

( 6自治町会 785人参加 )

- ・自治町会による炊き出し訓練や初期消火、倒壊家屋からの救出などの訓練
- ・自衛隊による倒壊家屋からの救出訓練、警察による車両からの救出訓練
- ・災害時相互応援協定都市 ( 土浦市 ) による備蓄物資提供訓練
- ・協定団体による道路啓開訓練、民間建築物応急危険度判定訓練、応急電源供給対応訓練、物資輸送訓練、防災関係展示等
- ・自治町会及び協定団体の共同による炊き出し訓練
- ・自治町会による放水訓練



( 道路啓開訓練 )



( 初期消火訓練 )



( 自衛隊救出訓練 )

## 避難訓練（ビニールハウス避難訓練）（1自治町会 41人参加）

災害時に避難場所として農地利用する協定を結んでいる JA 東京スマイルの協力の下、実際にビニールハウスを使い避難訓練を行いました。

協力機関：JA 東京スマイル葛飾営農研究会、JA 東京スマイル、赤十字社、高砂地区町会連合会

訓練内容：（1）設営訓練 （2）炊き出し訓練 （3）救護訓練  
（4）就寝体験 （5）都市農地の役割について意見交換

## その他の訓練等

- ・災害対策本部運営訓練
- ・区役所庁舎の非常用発電機を使った停電対応訓練
- ・葛飾区による臨時広報紙の発行、災害情報の告知、情報通信訓練、ごみ収集・運搬活動訓練、道路通行情報伝達及び収集訓練、応急給水訓練、地籍調査事業の啓発展示等
- 地区災害対策拠点による情報伝達訓練、
- ・かつしかFMによる取材、報道及び災害時の臨時放送訓練
- ・JCN コアラ葛飾による取材、報道

### （5）参加団体

東京消防庁本田消防署・金町消防署、本田消防団・金町消防団、消防ボランティア

警視庁葛飾警察署、亀有警察署

陸上自衛隊第一普通科連隊、自衛隊東京地方協力本部新小岩募集案内所

葛飾区医師会、葛飾区歯科医師会、葛飾区薬剤師会、葛飾区柔道接骨師会、葛飾歯科技工士会、葛飾赤十字産院

東京都トラック協会葛飾支部、赤帽首都圏軽自動車運送協同組合城東支部、東京都米穀小売商業組合葛飾支部、東京都製麺組合葛飾支部、東京都エルピーガス協会葛飾支部、葛飾動車協会、郵便事業株式会社葛飾支社、東京都建築士事務所協会葛飾支部、東京都管工事工業協同組合葛飾支部、葛飾建築協会、葛飾塗装安全協会、葛飾防災協力会、亀有防災協力会、葛飾電気防災協力会、葛飾造園災害対策協議会、社会福祉協議会、JA 東京スマイル葛飾営農研究、JA 東京スマイル、葛飾エフエム、JCN コアラ葛飾

水道局葛飾営業所、下水道局東部第二管理事務所小菅水再生センター、東京電力上野支社、東京ガス東部支店、NTT 東日本-東京、株式会社 NTT ドコモ、

日本赤十字社東京都支部、土浦市、高砂地区町会連合会（10自治町会）、東京都葛飾区議会、葛飾区農業委員会、葛飾区

### 3 . 訓練会場

